

出前トーク通信 vol.3

出前トーク通信 vol.3 は、平成28年度申込数第3位の No.2-5「防災対策～災害への備え～」(防災危機管理課)の様子をご紹介します。

「もし、明日、大地震が発生したらどうしますか？」

この出前トークでは、全国的に地震や台風による被害が続く中、一人ひとりが実施すべき日頃の備え、災害発生時の対応等についてご説明します。

ご紹介する回では、主に東日本大震災による本県の被害状況を振り返り、災害の恐ろしさを再確認するとともに、被害を最小限に抑えるためにはどうすればよいかなどのお話がありました。

災害への備えとして、まずは日頃の備えが大事だそうです。

- ①家(身の回り)の安全対策・・・家の中の転倒防止対策、耐震診断
- ②非常用品の準備・・・・・・・・(1)備品用品(2)非常持出品
- ③家庭内での防災会議・・・・・・・・危険箇所の確認、避難場所・経路の確認、連絡方法等の確認

また、実際に災害が発生した時に行うべきことの1つに「正しい情報の入手」がありますが、1つの情報を鵜呑みにするのではなく、様々な媒体から情報を仕入れることが大事だそうです。しかし、情報収集ばかりに夢中になるのではなく、まずは安全な場所に避難することを第一に行動するようにしましょう。

出前トーク実施後のアンケートでは、「ためになった。」「東日本大震災を風化させないためにこういった取組を継続してほしい。」といった感想が寄せられました。

今回の出前トークで「**扶助よりも自助**」という言葉が一番心に残りました。誰かの助けを待つのではなく、自分の身は自分で守ることが大事ということなんですね。この出前トークを機に、実際にわたしも非常用品の見直しなどをしました(^_^)



とても役に立つテーマなので、いざという時の備えのために申し込んでみてはいかがでしょうか? (^_^)/

